

# 仕事人の肖像

株式会社イーネット代表取締役 市成

# 市成修

経営の優先順位は  
一にスピード、二に情報  
三、四、五がヒト、モノ、カネ

I 市成の肖像は、その経営が昨今よく問われる。しかし、その経営が活かすためのノウハウは、またまた不明瞭な部分が多い。日本学生の大企業を卒業して、日本で有力な事例を上げている。

## 「インターネットの出会い」

市成さんは、大学は文系（法学部）ですが、インターネットを中心とするIT社会で、主に企業や団体の情報化支援システムのコンサルティング及び教育・研修を行う会社を営んでいますね。

市成 経歴のとおり、まっすぐにこの世界に入ったわけではありません。社会人になりたての頃は、コンピュータといえば、オフコンのことという環境でした。リクルートの前身・就職情報センターに勤めていたのですが、そこでクライアントの中の滋賀タイハツ販売の後藤昌幸社長（当時）にめぐり会ったことが、今日の起点になりました。

自動車販売とインターネットとの遭遇は、まだ日が浅いと思います。が……。

市成 当時（1981年）はインターネットなどありませんでした。滋賀タイハツでは、後藤社長が開発した独自の戦略会計、全員経営を学び、これを活かす道具として、簡易言語パソコン・「マイツール」と出会ったのが、コンピュータとの初めての接点でした。

神戸でムーブを創業したキツカケは、何だったのですか？

市成 自然の流れでそうなったのです。リクルートでは何百社という会社を見て、タイハツでは後藤社長の指導の下、戦略会計と全員経営の実践を目のあたりにしながら、コンピュータのイロハとソフト開発も手掛けるようになっていきました。このノウハウを世界中に広めたいと思い、最後は臨界点に達して独立したのです。

独立後、順調なスタートを切れましたか。

市成 「マイツール」開発者のひとり荒川社長にも出資をいただき、最初から株式会社としてスタートしましたが、中身は個人事業のようなものでした。マイツールを採用していただいた企業との接点から、戦略会計研修、情報システムコンサルティングへと進化していったのです。

それは昭和五十年代（70年代）なかばからの10年（のこと）ですから、まだコンピュータは大企業にしかなく、中小企業にはFAXとコピー機それにシュレッダーが台頭してきたばかりでしたね。

市成 IT時代に入る前のOA機器全盛の時代でした。ですからコンピュータ・ソフトを使用した戦略会計システムは、当時の先端を行っていましたが、クライアントは研修事業では松下電器、村田機械、ソフト開発事業では、ダスキンなど大手企業でした。

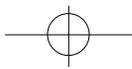
社名のムーブの由来は何ですか。市成 ムーブは「動く」という意味のほかに「感動する」という意味があります。つまり、行動して感動する、感動して行動するという意味です。

いい社名ですね。タイハツに「ムーブ」といわれるありますが、どっちが先ですか。

市成 もちろん当社です。したがって、ドメイン名は、当社が先に取得しています。

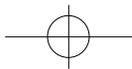
## インターネットの遭遇

平成（1989年）に入って、マイクロソフトのオフィシャルトレーナーの資格を取得され、いよいよ



## Osamu Ichinari

1956年福岡県生まれ。79年京都産業大学法学部を卒業し、同年株式会社就職情報センター（現リクルート）入社。  
81年滋賀ダイハツ販売入社、82年兵庫ダイハツ販売入社、87年株式会社ムーブ設立、代表取締役就任、現在に至る。





## WebTVは家電製品を扱う要領で テレビをインターネット化したものです

徐々にインターネットが広まり始めました。それで自前のプロバイダーを立ち上げようという決心をしました。

神戸で自前のインターネットを開設したのは、いつのことでしたか。

市成 平成95年3月でした。自前のサーバー

(アクセスポイント)のキャパ6人分)によってホームページが表示されたときの感動は忘れられません。まだ日本のアクセス

ポイントほとんど東京しかない時代でしたからねえ、正真正銘のムフ(感動)した瞬間でした。

インターネットの世界一色になっていきましたね。

市成 93年以降、商用プロバイダー、LAN構築、コンテンツ作成、サーバーレンタル、インターネット研修と間口を広げていきました。市成さんが初めてインターネットを接続したのはいつでしたか。

市成 94年です。「DOS/Vマガジン」という雑誌でアメリカのインターネット最先端情報を読んで興奮しました。しかし、日本では通信費が高いので、アメリカのように普及しないとも書いてありました。

阪神大震災の後、神戸を6カ月間離れ、東京で働きましたが、この頃

市成 1カ月のアクセス使用料を最初から定額にしたことです。1カ月2万円のプロバイダーもある時代に当社は2000円にしたのです。

市成 『天界と地獄』(スウエーデンボルグ著)の中に「すべての記録は光の中に記憶されている」という言葉があるのですが、それがインターネットに証明されたのです。光ファイバーを通して、光ディスクに記憶されるようになり、ポータブルに誰もがアクセスできるようになったのですから。

市成 インターネットは、パソコンと通信回線の融合によってコミュニケーションや情報を伝達するのですが、WebTVは、テレビと通信回線をつなぎ、テレビ画面上でインターネットを可能にするものです。テレビがパソコンになるわけがないですから、別の端末セットと組み合わせなければなりません。

## PCから情報家電へ

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 1カ月のアクセス使用料を最初から定額にしたことです。1カ月2万円のプロバイダーもある時代に当社は2000円にしたのです。

市成 『天界と地獄』(スウエーデンボルグ著)の中に「すべての記録は光の中に記憶されている」という言葉があるのですが、それがインターネットに証明されたのです。光ファイバーを通して、光ディスクに記憶されるようになり、ポータブルに誰もがアクセスできるようになったのですから。

市成 インターネットは、パソコンと通信回線の融合によってコミュニケーションや情報を伝達するのですが、WebTVは、テレビと通信回線をつなぎ、テレビ画面上でインターネットを可能にするものです。テレビがパソコンになるわけがないですから、別の端末セットと組み合わせなければなりません。

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 最近ではドッグイヤーを超えて、ハツカ(20日)ネズミイヤーです(1年が18年の早さに匹敵)。いま経営の優先順位は「一にスピード、二に情報、三、四、五がヒト、モノ、カネに変わりました。」

市成 例えはデパートの外商部がお得意様に端末機を無料で配布して、受発注に使用したり、都市銀行がお金持ちや単身者に配布して、自動支払い(口座引き落とし)の双方向連絡用に使用すれば、非常に便利

市成 カードと連結できれば、クルマを走らせながら、行き先のホテルやレストランの予約ができてしまうのです。

市成 最新のビジネスをしている市成さんですが、余暇はどう過ごされているのですか。

市成 徹底的なアナログ人間で温泉に行ったり、おいしい料理を食べたり、お酒を飲みに行くのが好きですね。

市成 徹底的なアナログ人間で温泉に行ったり、おいしい料理を食べたり、お酒を飲みに行くのが好きですね。

市成 徹底的なアナログ人間で温泉に行ったり、おいしい料理を食べたり、お酒を飲みに行くのが好きですね。

市成 徹底的なアナログ人間で温泉に行ったり、おいしい料理を食べたり、お酒を飲みに行くのが好きですね。



インタビュー・プロフィール  
**河野 實**  
1941年大阪生まれ。中央大学在学中に出版した『愛と死をみつめて』がベストセラーとなる。経済専門誌などを経て独立し「マコ・インターナショナル」を設立、経営コンサルティングを手がけながらジャーナリストとして執筆活動を行っている。

最終回記念

世紀末ニッポンの経営者たち 仕事人の肖像 【歴代登場人物近況】



野村企業情報社長 後藤光男 <1996年10月号> 定年退職後、産業能率大学で講師を務める。



ミサワホーム社長 三澤千代治 <1996年12月号> 100年住宅で健闘するなどアイデアマンの面目躍如。



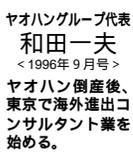
経営評論家 高木敏行 <1997年2月号> 業界再編、アジア市場の動向を取材・執筆している。



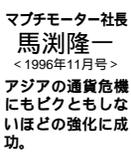
経営評論家 梶原一明 <1997年2月号> 日本経済再生のコメンテーターとして活躍している。



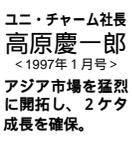
千代田国際経営法律事務所 代表弁護士 石角完爾 <1997年4月号> 国際弁護士として『アメリカのスーパーエリート教育』を出版。



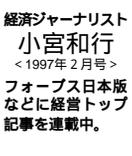
ヤオハングループ代表 和田一夫 <1996年9月号> ヤオハン倒産後、東京で海外進出コンサルタント業を始める。



マブチモーター社長 馬淵隆一 <1996年11月号> アジアの通貨危機にもビクともしないほどの強化に成功。



ユニ・チャーム社長 高原慶一郎 <1997年1月号> アジア市場を猛烈に開拓し、2ケタ成長を確保。



経済ジャーナリスト 小宮和行 <1997年2月号> フォーブス日本版などに経営トップ記事を連載中。



モスフードサービス社長 櫻田慧 <1997年3月号> マックの低価格戦略に苦戦中だが、急死した櫻田氏の理念は健在。



アシックス会長 鬼塚喜八郎 <1997年6月号> ナイキなどにシェアを奪われているがエアウォークで反撃。



日本ベストメントファイナンス社長 磯田拓郎 <1997年8月号> イソダアシエツを興し国際ビジネスコンサルタントとして活躍。



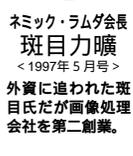
はせがわ社長 長谷川裕一 <1997年11月号> アジアでの多角化事業は失敗したが本業に回帰し業界トップを死守。



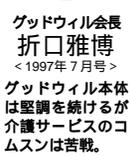
カプコン社長 辻本憲三 <1998年1月号> プレイステーションのソフトなどで業績が急回復中。



三種経済研究所代表取締役 斎藤進 <1998年2月号> 日米欧の3種経済の動向を分析、金融・証券会社に最新情報を提供。



ネミック・ラムダ会長 斑目力曠 <1997年5月号> 外資に追われた斑目氏が画像処理会社を第二創業。



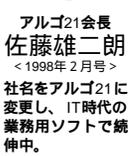
グッドウィル会長 折川雅博 <1997年7月号> グッドウィル本体は堅調を続けるが介護サービスのコムスは苦戦。



ドールコーヒー社長 鳥羽博道 <1997年9月号> チェントップの座に躍りて、なおシェアを拡大中。



明光商会社長 高木禮二 <1997年12月号> 最高の営業軍団を擁しシュレッダーのトップシェア8割を維持。



アルゴ21会長 佐藤雄二郎 <1998年2月号> 社名をアルゴ21に変更し、IT時代の業務用ソフトで続伸中。



ノースウエストホームズ社長 船越康 <1998年3月号> 為替変動が落ちつき輸入住宅分野のバイオニアの地位を死守。



旭テレコム社長 根本照夫 <1998年5月号> 業績不振の責任を取ってDDI傘下に入り社長の座を降りる。



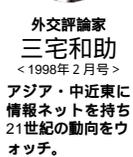
アジア経済人懇話会理事長 前野徹 <1998年7月号> 近著『戦後日本史の歴史』がベストセラーになって東奔西走中。



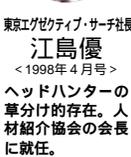
ワタミフードサービス社長 渡邊美樹 <1998年9月号> 店頭登録から東証二部へ、さらに一部上場をはたした。



ニチリョク社長 寺村久義 <1998年12月号> 豊田開発、墓石販売で唯一の株式公開企業。葬祭事業を開始。



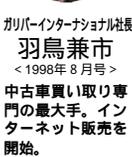
外交評論家 三宅和助 <1998年2月号> アジア・中近東に情報ネットを持ち21世紀の動向をウォッチ。



東京エグゼクティブ・サーチ社長 江島優 <1998年4月号> ヘッドハンターの草分け的存在。人材紹介協会の会長に就任。



日本バーブル社長 林秀敏 <1998年6月号> ISO14000を取得し、さらに地方を固める。



ガリバーインターナショナル社長 羽鳥兼市 <1998年8月号> 中古車買い取り専門の最大手。インターネット販売を開始。



ドン・キホーテ社長 安田隆夫 <1998年11月号> 深夜営業で住民の反対運動起こるも、和訳し大幅増収増益。



オートバックスセブン社長 住野公一 <1999年2月号> カー用品をベースとして外食など新分野への進出をはかる。



キヤガ・コミュニケーションズ社長 藤村哲哉 <1999年4月号> IT時代の映像事業の総合プロデューサーとしてコンテンツで勝負。



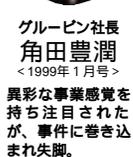
エヌエムシ社長 野本明白 <1999年6月号> 会計事務所から中小企業の情報ネットワーク基地に質的転換中。



ホビーリンク・ジャパソ社長 スコット・ハーズ <1999年8月号> 趣味をビジネスにして幸せな在日外国人生活を送る。



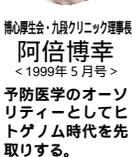
株式会社武蔵野社長 小山昇 <1999年11月号> 情報武装をやりとげ、中小企業経営者としてIT時代を先取りする。



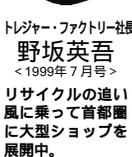
グルーピン社長 角田豊潤 <1999年1月号> 異彩な事業感覚を持ち注目されたが、事件に巻き込まれ失脚。



日本パートナー会計事務所会長 神野宗介 <1999年3月号> 会計事務所の機能を総合経営コンサルタントに更新中。



健康社会・九段クリニック理事長 安倍博幸 <1999年5月号> 予防医学のオーソリティーとしてヒトゲノム時代を先取りする。



トレージャー・ファクトリー社長 野坂英吾 <1999年7月号> リサイクルの追い風に乗り、首都圏に大型ショップを展開中。



マツダ取締役 丸本明 <1999年9月号> 取締役・商品品質本部長としてマツダ全体の質の向上を進める。



アドバント・メディア社長 鈴木清幸 <2000年1月号> アミボイスでIT時代の音声分野を開拓中。サンシャイン60に本社移転。



チャイルドデザイン・ビジネス社長 西内久美子 <2000年3月号> 社名をコミュニケーションアワープログラムに変更。資格者2000人に。



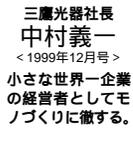
クイック代表取締役 佐藤治 <2000年5月号> Eビジネスで新車を売りまくる。今秋から外車も取り扱う。



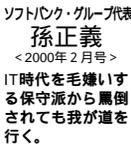
アメージング・グレース代表取締役 齊京信江 <2000年8月号> 盛田昭夫ソニー会長の元秘書。ブライダルプロデュース事業を展開。



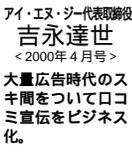
クマモト水研代表取締役 隈元幸信 <2000年10月号> 水にとりつかれて30年。農産物などを活性化させる機能水を開発。



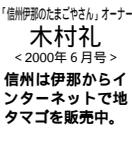
三鷹光器社長 中村義一 <1999年12月号> 小さな世界一企業の経営者としてモノづくりに徹する。



ソフトバンク・グループ代表 孫正義 <2000年2月号> IT時代を毛嫌いする保守派から罵倒されても我が道を行く。



アイ・エヌ・ジー代表取締役 吉永達世 <2000年4月号> 大量広告時代のスキ間をついて口コミ宣伝をビジネス化。



「信州伊那のたまごやさん」オーナー 木村礼 <2000年6月号> 信州は伊那からインターネットで地タマゴを販売中。



起業家情報センター代表取締役 井本剛司 <2000年9月号> 起業家の支援業を展開中。青少年時代は悪ガキだった。

社名・肩書は取材当時。 87 2000 / 11

(敬称略)